

令和元年度 第2回
嬉野市庁舎のあり方検討委員会

<検討用資料>

令和2年 3月19日

1 平成 18 年、合併後の人口・世帯数の推移（地区別）について

表 地区別 人口・世帯数推移

地区	項目	H18.1.1 合併当初	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	合併当初 ～R1 増減	合併当初 ～R1 増減/合併時
五町田	人口	4,342	4,317	4,247	4,238	4,224	4,260	4,194	4,114	4,100	4,045	3,982	3,974	3,927	3,875	3,821	-521	-12.0%
	世帯数	1,399	1,410	1,410	1,419	1,416	1,433	1,432	1,420	1,420	1,429	1,419	1,439	1,436	1,429	1,431	1,431	32
久間	人口	3,992	3,952	3,874	3,840	3,817	3,769	3,728	3,725	3,669	3,649	3,629	3,550	3,524	3,470	3,467	-525	-13.2%
	世帯数	1,099	1,098	1,090	1,091	1,089	1,091	1,094	1,106	1,108	1,107	1,107	1,108	1,122	1,122	1,140	1,140	41
塩田	人口	3,573	3,526	3,443	3,369	3,325	3,303	3,264	3,249	3,210	3,129	3,086	3,055	3,012	2,955	2,929	-644	-18.0%
	世帯数	945	935	935	934	939	938	941	978	979	960	953	957	961	953	963	18	1.9%
嬉野	人口	15,525	15,352	15,264	15,030	14,939	14,867	14,731	14,682	14,491	14,400	14,167	14,073	13,890	13,715	13,516	-2,009	-12.9%
	世帯数	5,557	5,529	5,537	5,532	5,535	5,558	5,553	5,567	5,526	5,524	5,526	5,533	5,528	5,484	5,459	-98	-1.8%
吉田	人口	2,956	2,886	2,850	2,797	2,753	2,716	2,666	2,585	2,539	2,477	2,443	2,365	2,327	2,273	2,204	-752	-25.4%
	世帯数	866	868	872	870	868	867	872	866	861	851	848	835	831	825	817	-49	-5.7%
市全域	人口	30,388	30,033	29,678	29,274	29,058	28,915	28,583	28,355	28,009	27,700	27,307	27,017	26,680	26,288	25,937	-4,451	-14.6%
	世帯数	9,866	9,840	9,844	9,846	9,847	9,887	9,892	9,937	9,894	9,871	9,853	9,872	9,878	9,813	9,810	-56	-0.6%

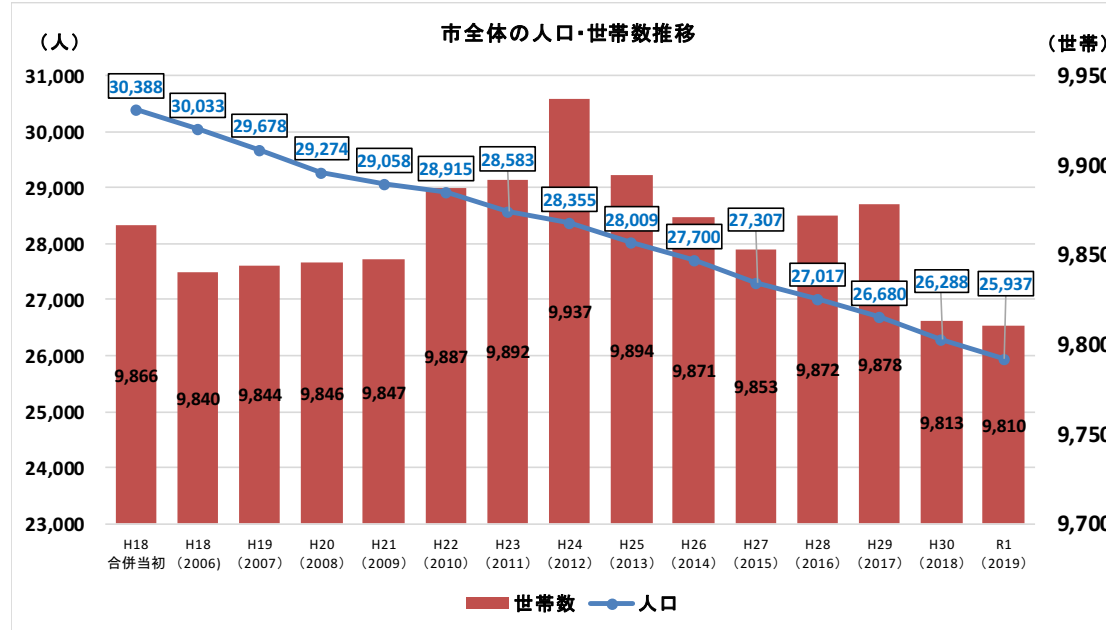
※合併当初を除き、各年 12 月 31 日時点の住民基本台帳集計値

【人口・世帯数の推移】

① 市全域の人口・世帯数推移

市全体で人口は減少傾向にあり、合併当初の平成 18 年（2006 年）1 月 1 日から 4,451 人、割合で 14.6%減少しています。

世帯数は、56 世帯、割合で 0.6%しか減少しておらず、一人世帯などの増加、世帯数あたりの人数の減少が予測できます。

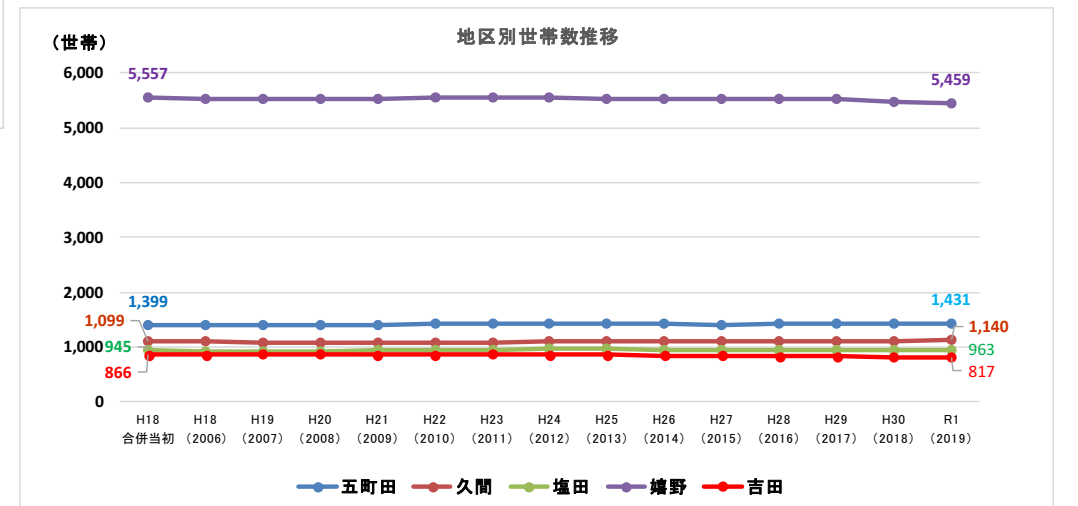
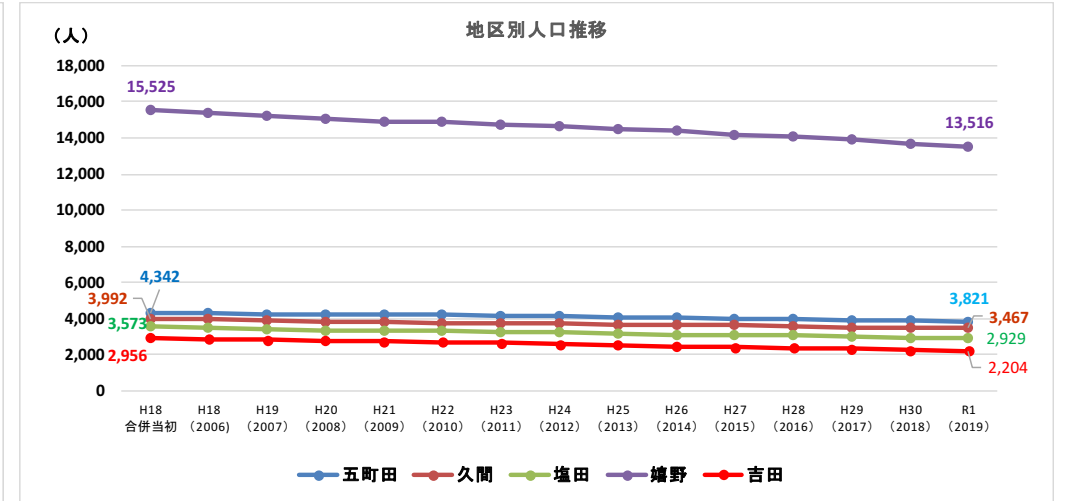


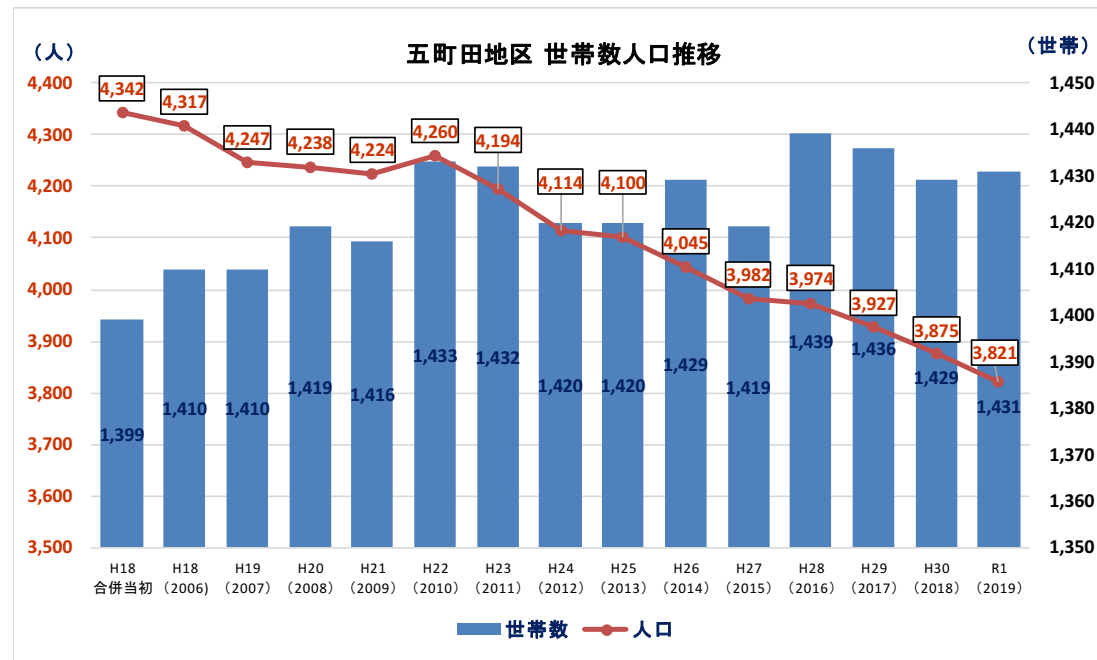
② 地区別の人口・世帯数推移

地区別では、人口は各地区とも減少傾向にあります。五町田地区、久間地区、塩田地区においては世帯数の増加が見られます。

特にこの地域において、一人世帯の増加、世帯数あたりの人数の減少が予測できます。

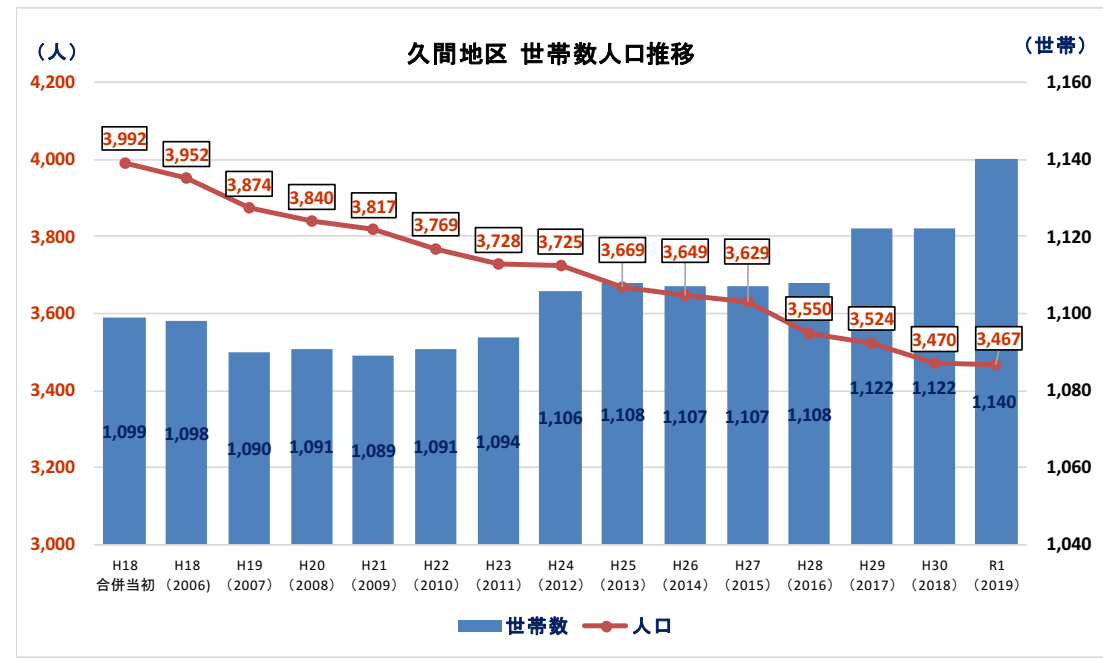
最も人口の減少数が多いのは嬉野地区ですが、減少率が大きいのは、吉田地区となっています。





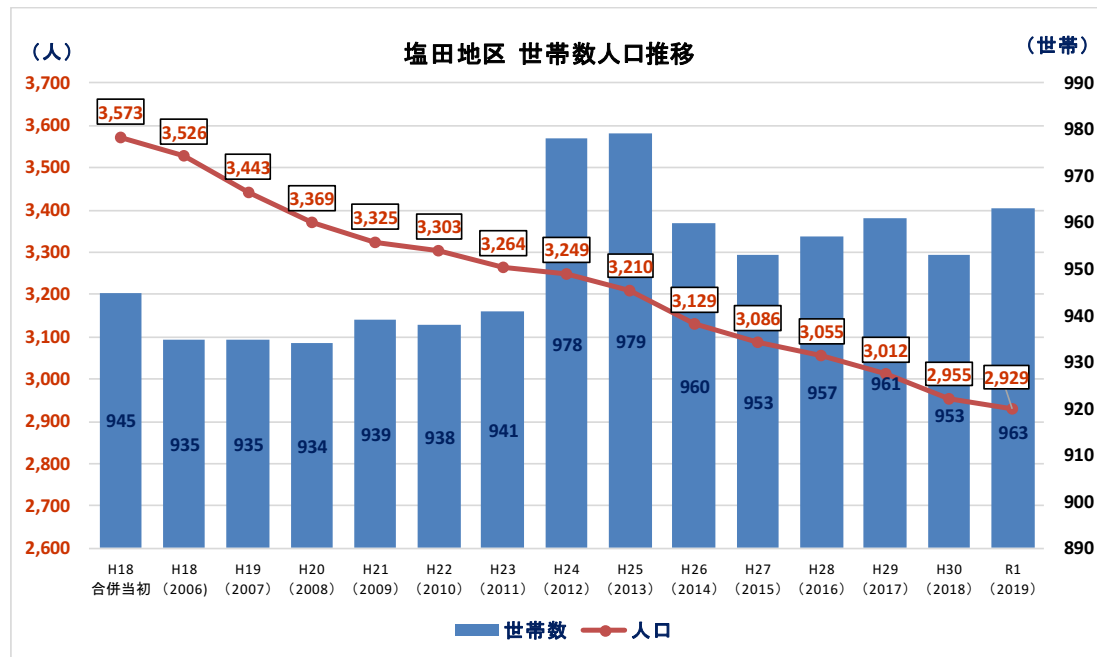
五町田地区

人口は-12.0%の減
世帯数は2.3%の増



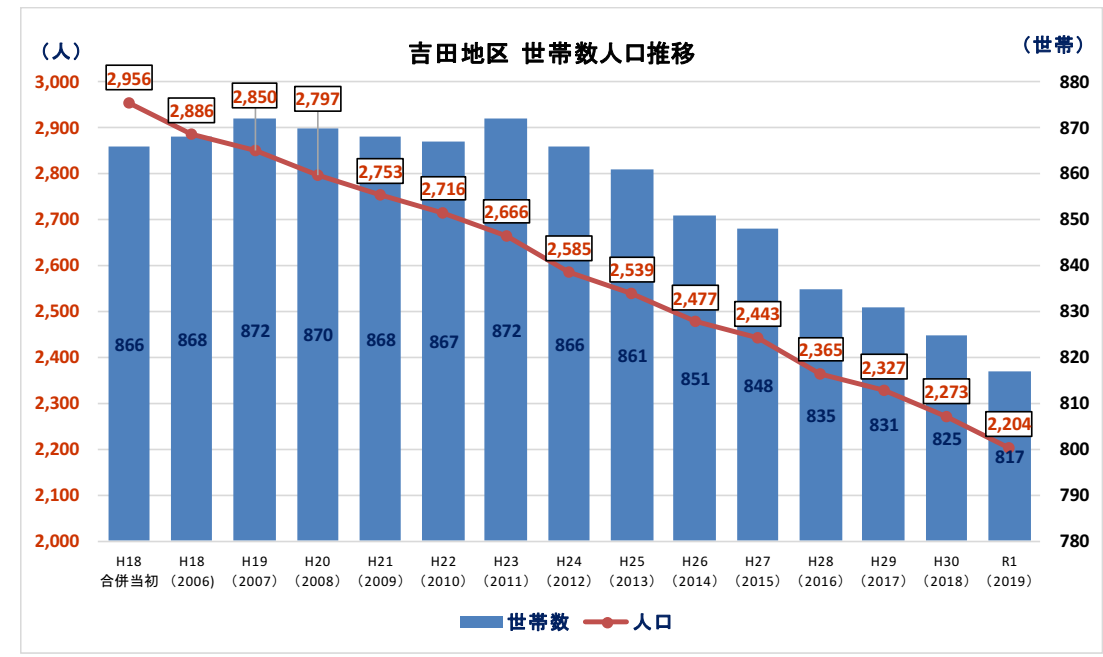
久間地区

人口は-13.2%の減
世帯数は3.7%の増



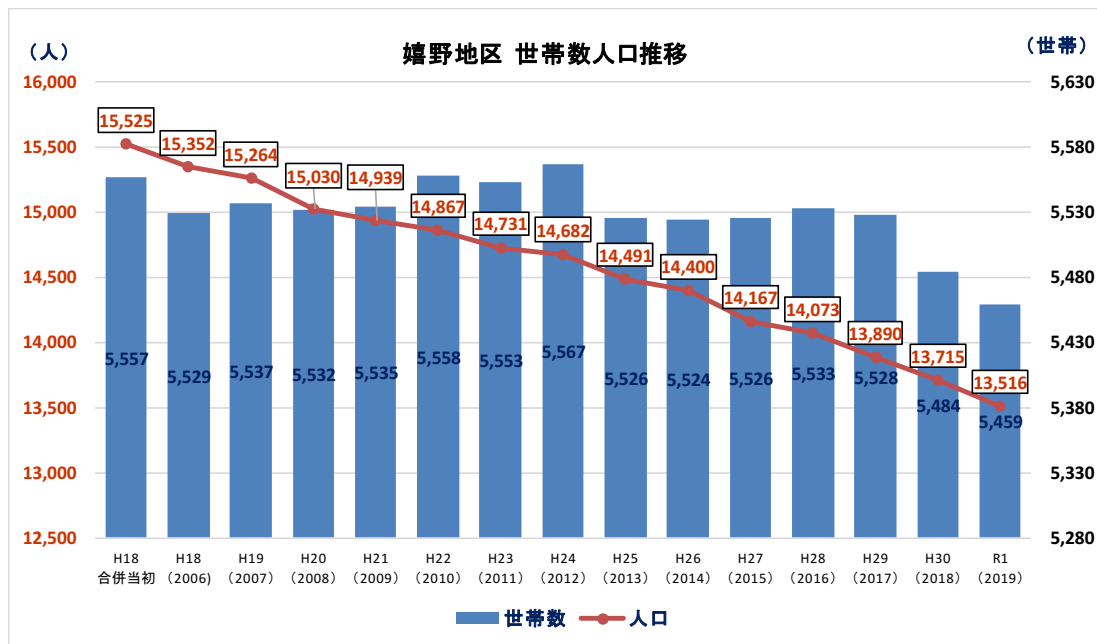
塩田地区

人口は-18.0%の減
世帯数は1.9%の増



吉田地区

人口は-25.4%の減
世帯数は-5.7%の減



嬉野地区

人口は-12.9%の減
世帯数は-1.8%の減

2. 庁舎の現状整理

嬉野市は、平成 18（2006）年 1 月 1 日合併して、「本庁を旧塩田町役場」、「総合支所を旧嬉野町役場」として新市はスタートしています。

現在、嬉野庁舎は耐震要件を満たしておらず、老朽化も進んでいる状況にあるため、この問題に対応していく必要があります。

【委員会検討事項】

- ・市庁舎の現状及び課題に基づく今後のあり方に関する事項
- ・市庁舎を整備する場合の基本方針に関する事項
- ・その他市長が必要と認める事項

1	体制	現状：2 庁舎体制	
2	対象庁舎	塩田庁舎	嬉野庁舎
3	建築物の方向性	維持補修	老朽化建替検討
4	対象庁舎機能	本庁的機能	支所的機能
5	建築年	1993	【第 1 庁舎】1962 【第 2 庁舎】1980
6	2019 現在築年数	26 年	【第 1 庁舎】57 年 【第 2 庁舎】39 年
8	耐震性	有	無
7	構造・階数	RC・5 階（地階有）	RC・4 階（地階有）
8	延床面積（㎡）	4,081.5 ㎡	3,371.3 ㎡
9	敷地面積（㎡）	4,570.8 ㎡	6,800.0 ㎡
10	都市計画区域	都市計画区域外 （農業振興地域等）	都市計画区域 （用途指定）
11	職員数	庁舎内 134 名 （庁舎外含む：195 名） 5 部 17 課	庁舎内 141 名 （庁舎外含む：212 名） 5 部 11 課
12	近隣公共施設	中央公民館 社会文化会館「リバティ」 図書館・歴史民俗資料館 塩田保健センター 嬉野商工会	嬉野市中央体育館 嬉野文化センター （嬉野図書館） 嬉野消防署
13	地震ハザードマップ推定震度	震度 6 強	震度 5 強
14	洪水ハザードマップ浸水深さ	5.0m~10.0m 未満	浸水区域外
15	沿線主要道路	国道 498 号	九州自動車道嬉野 I C 国道 34 号
16	その他都市計画	該当無し	九州新幹線 嬉野温泉駅建設中
17	令和元年実施アンケート調査	来庁者数 9,392 人（4.5 カ月）	来庁者数 18,511 人（4.5 カ月）

【11 項 職員数の内訳】

令和 2 年 2 月時点での庁舎別職員数は下記のとおりです。

塩田庁舎所管の職員数は、195 名です。うち庁内勤務者は 134 名となっています。

嬉野庁舎所管の職員数は、212 名です。うち庁内勤務者は 141 名となっています。

表 塩田庁舎職員数 内訳

職員種別	一般職員（課長含む）		再任用職員		任期付職員		一般非常勤職員		臨時職員		その他		計	
	庁舎内	庁舎外	庁舎内	庁舎外	庁舎内	庁舎外	庁舎内	庁舎外	庁舎内	庁舎外	庁舎内	庁舎外	庁舎内	庁舎外
三役（3）・部長（5）	8												8	0
総務・防災課（運営含む）	10		1		1		1				1		14	0
財政課	6						1						7	0
企画政策課	7		1				2	1	1		1		12	1
広報・広聴課	6						2						8	0
市民課	4		1				3		2				10	0
健康づくり課	14				3		3	4					20	4
子育て未来課	8		1		2			2	3		2		16	2
文化・スポーツ振興課		5		1				3					0	9
農業政策課	4		1		1		3						9	0
農業委員会事務局	2				1		1						4	0
水道課							1						1	0
会計課	4						1				1		6	0
議会事務局	2		1				1						4	0
監査委員事務局	2										2		4	0
教育総務課（総務・文化財）	4	2		1			1	2					5	5
（塩田図書館）		1						3					0	4
（塩田給食センター）		1						14					0	15
学校教育課	1				1		2				2		6	0
（学校関係（塩田））								20				1	0	21
小計	82	9	6	2	9	0	22	49	6	0	9	1	134	61
合計	91		8		9		71		6		10		195	

表 嬉野庁舎職員数 内訳

職員種別	一般職員（課長含む）		再任用職員		任期付職員		一般非常勤職員		臨時職員		その他		計	
	庁舎内勤務者	庁舎外勤務者	庁舎内勤務者	庁舎外勤務者	庁舎内勤務者	庁舎外勤務者	庁舎内勤務者	庁舎外勤務者	庁舎内勤務者	庁舎外勤務者	庁舎内勤務者	庁舎外勤務者	庁舎内勤務者	庁舎外勤務者
部長（2）	2												2	0
総務・防災課	3						2						5	0
税務課	13		2		1		3		4		1		24	0
新幹線・まちづくり課	9	1					2	2					11	3
市民課	3						2	1	3				8	1
福祉課	20		1		1		6		2		3		33	0
文化・スポーツ振興課		2						4					0	6
農業政策課（茶振興室）	2		1		1		1						5	0
観光商工課	7				1		1	3	1				10	3
建設・農林整備課	10		2		3		3	3					18	3
環境下水道課	7		1		1		4				1		14	0
水道課	6				1		2				2		11	0
（嬉野図書館）		2		1				5					0	8
（嬉野給食センター）		2						15		4		2	0	23
（学校関係（嬉野））								24					0	24
小計	82	7	7	1	9	0	26	57	10	4	7	2	141	71
合計	89		8		9		83		14		9		212	

資料：庁内資料

【12項 近隣公共施設】

それぞれの庁舎の周囲には下記のような公共施設が整備されています。

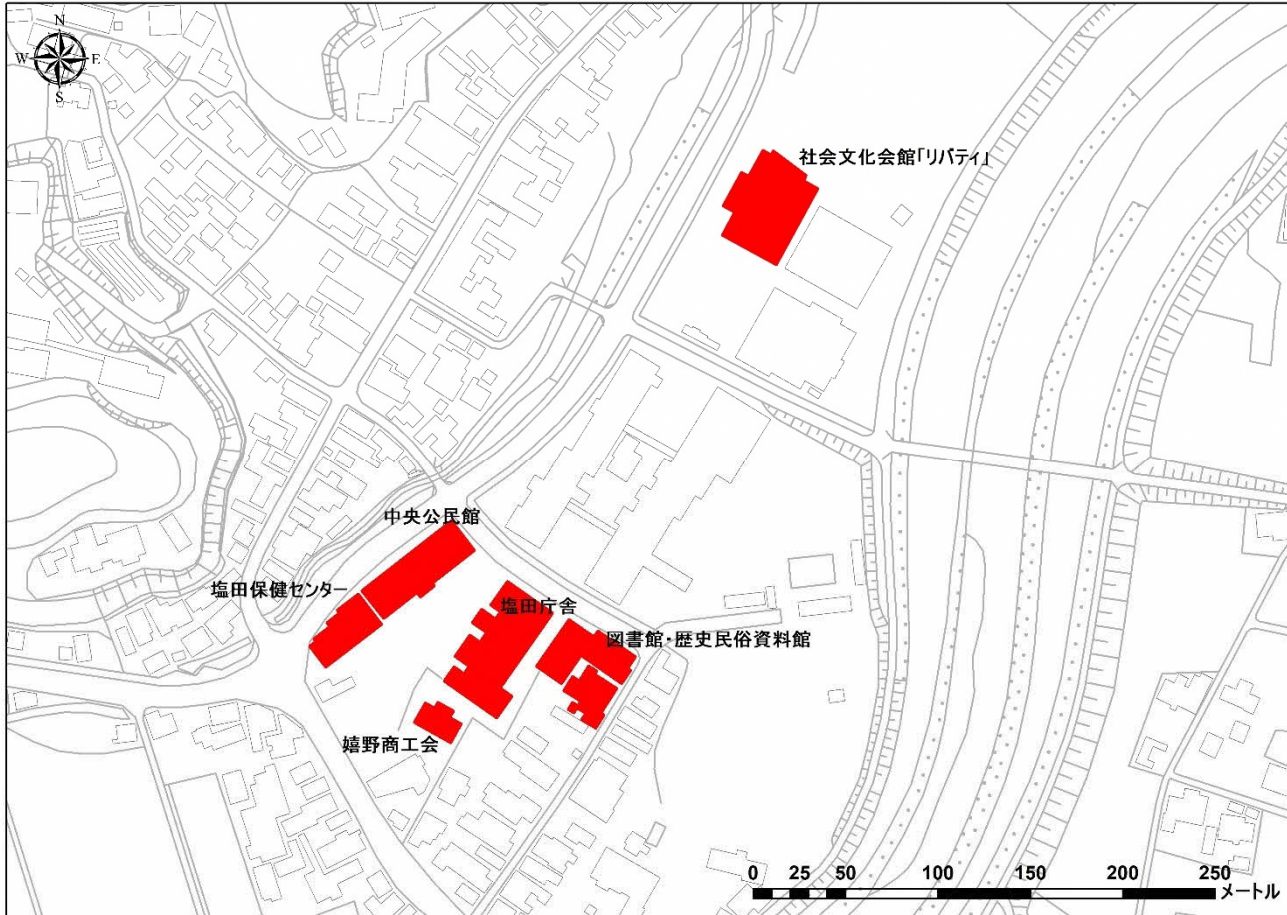


図 塩田庁舎 近隣公共施設配置図

表 塩田庁舎 近隣公共施設諸元

施設名	建築年・築年数	延床面積	備考
中央公民館	昭和 53 年 (1978 年) 築 41 年	2,026 m ²	
社会文化会館「リパティ」	平成 26 年 (2014 年) 築 5 年	4,684 m ²	
図書館・歴史民俗資料館	昭和 61 年 (1986 年) 築 33 年	1,103 m ²	
塩田保健センター	平成 10 年 (1998 年) 築 21 年	1,263 m ²	
嬉野商工会	-	-	市所管外

出展：嬉野市公共施設等総合管理計画



図 嬉野庁舎 近隣公共施設配置図

表 嬉野庁舎 近隣公共施設諸元

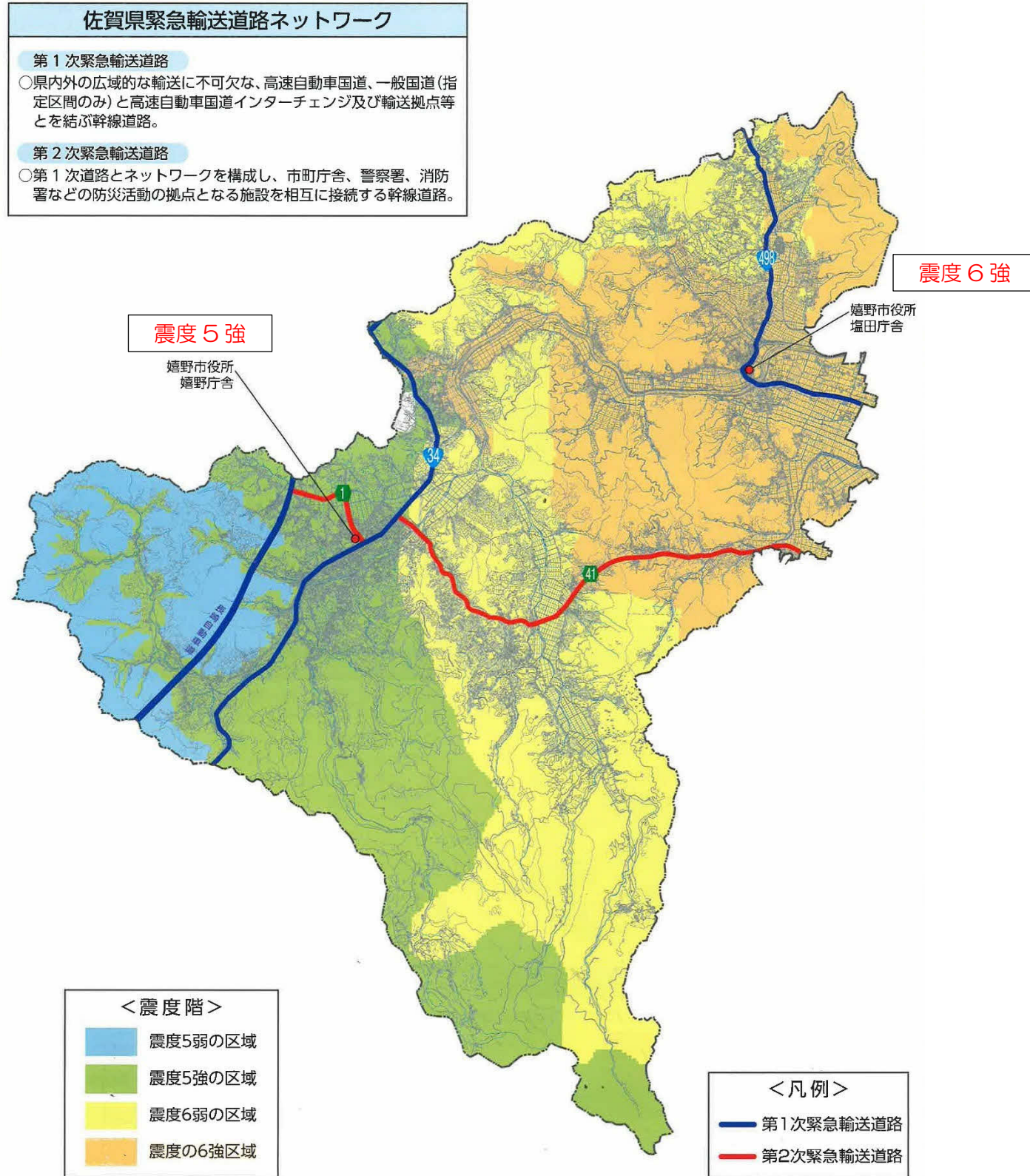
施設名	建築年 (築年数)	延床面積	備考
嬉野市中央体育館(U-SPO)	平成 31 年 (2019 年) 築 0 年	3,766 m ²	
うれしの市民センター	平成 31 年 (2019 年) 築 0 年	766 m ²	
嬉野文化センター (嬉野図書館)	平成 元年 (1989 年) 築 30 年	1,623 m ²	
嬉野消防署	-	-	市所管外

出展：嬉野市公共施設等総合管理計画

【項目 13 地震ハザードマップ】

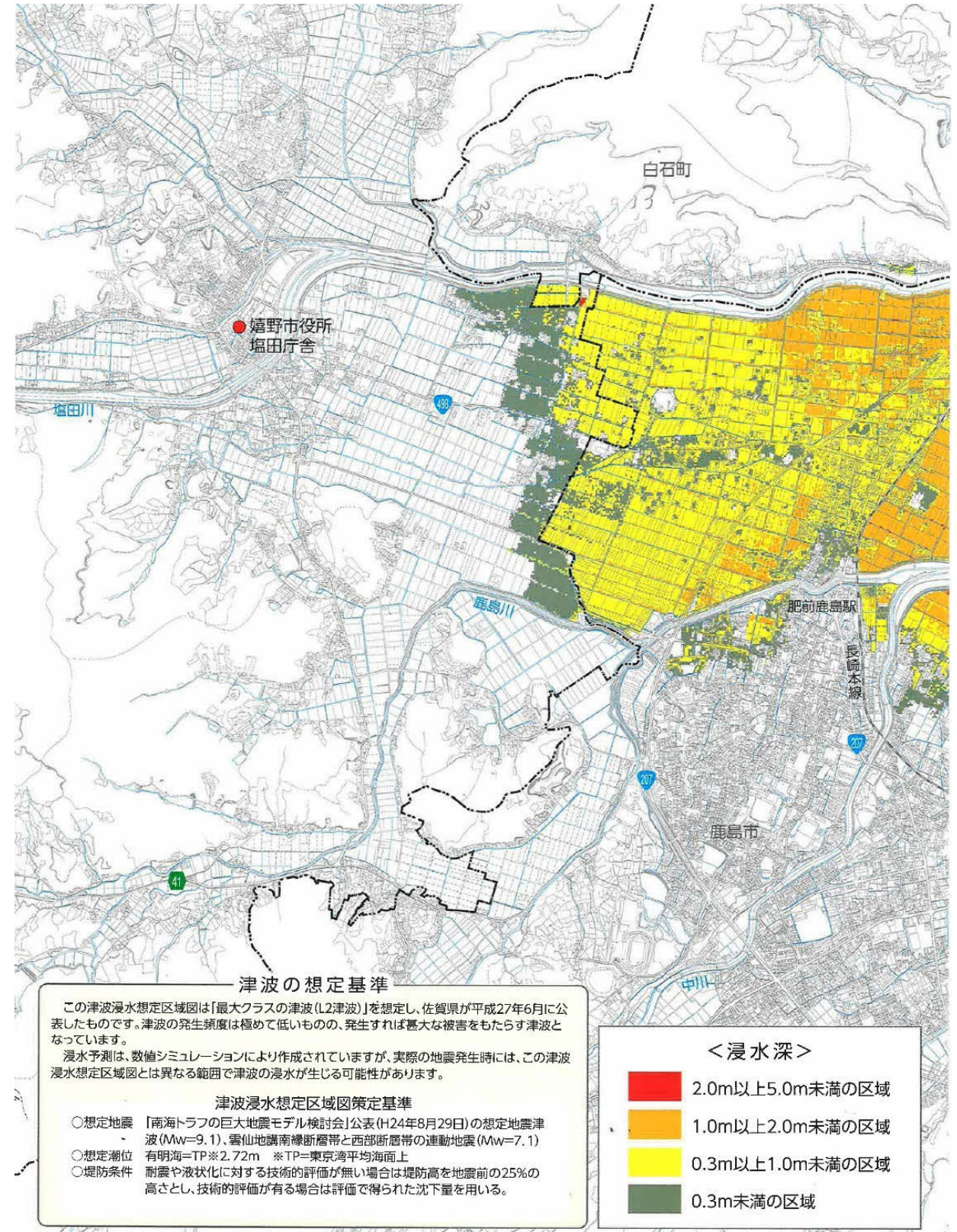
市では地震、津波、洪水に対するハザードマップを作成しています。下図は嬉野市内で想定される地震に対する最大震度の予測分布図です。

塩田庁舎で震度6強、嬉野庁舎で震度5強の揺れが予測されています。

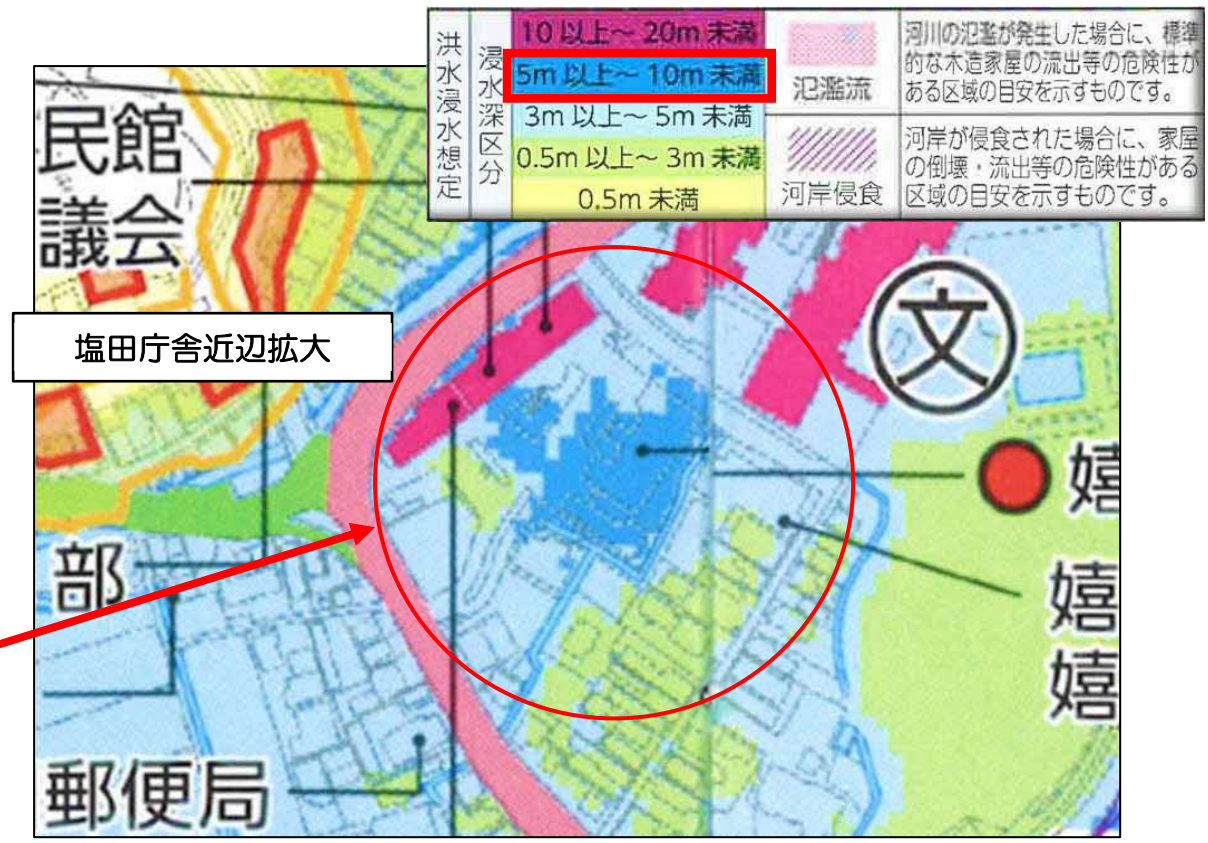
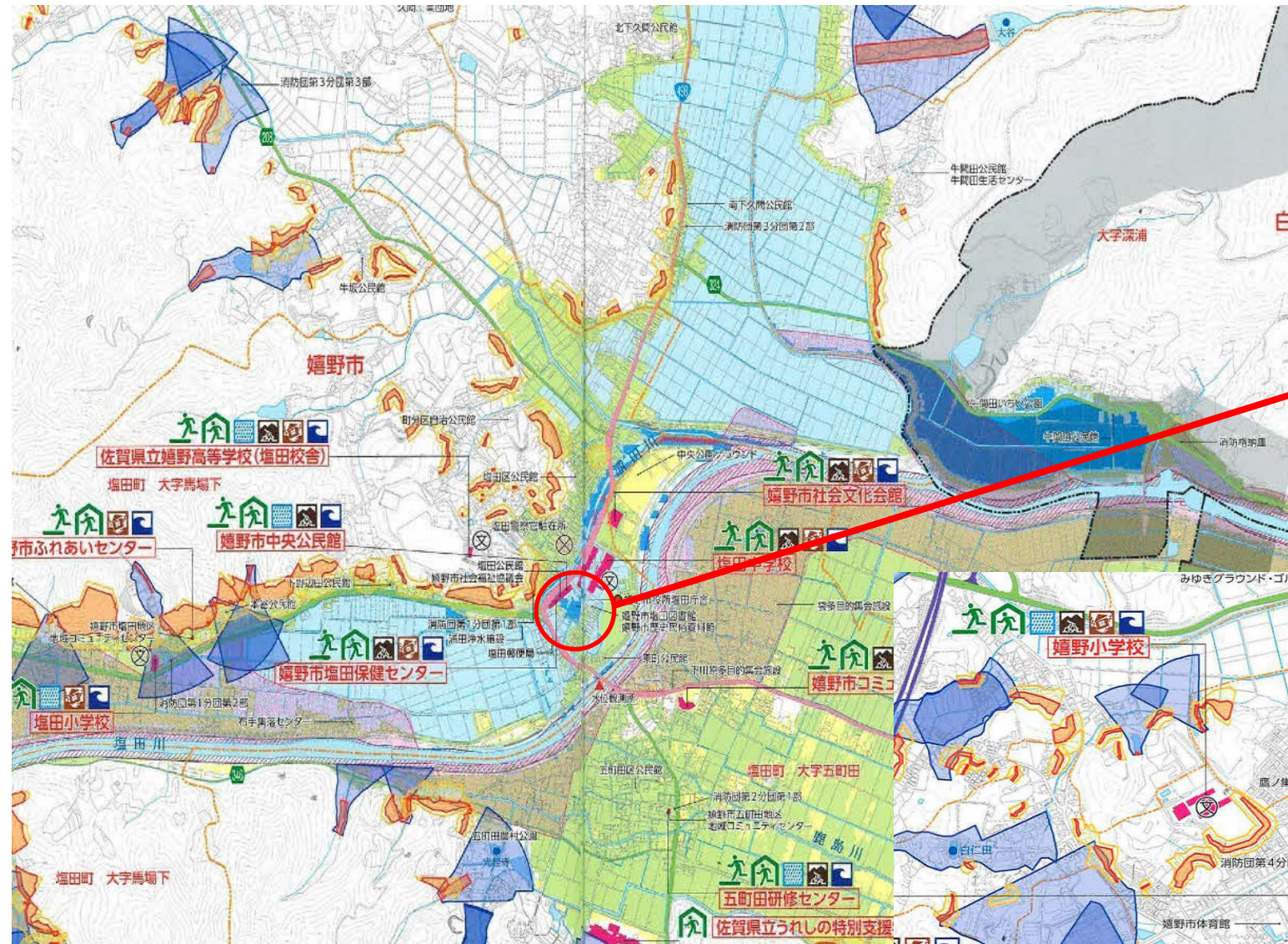


【参考：津波ハザードマップ】

想定される海溝型地震が発生した場合の津波浸水想定図です。両庁舎とも津波の浸水区域には該当しません。

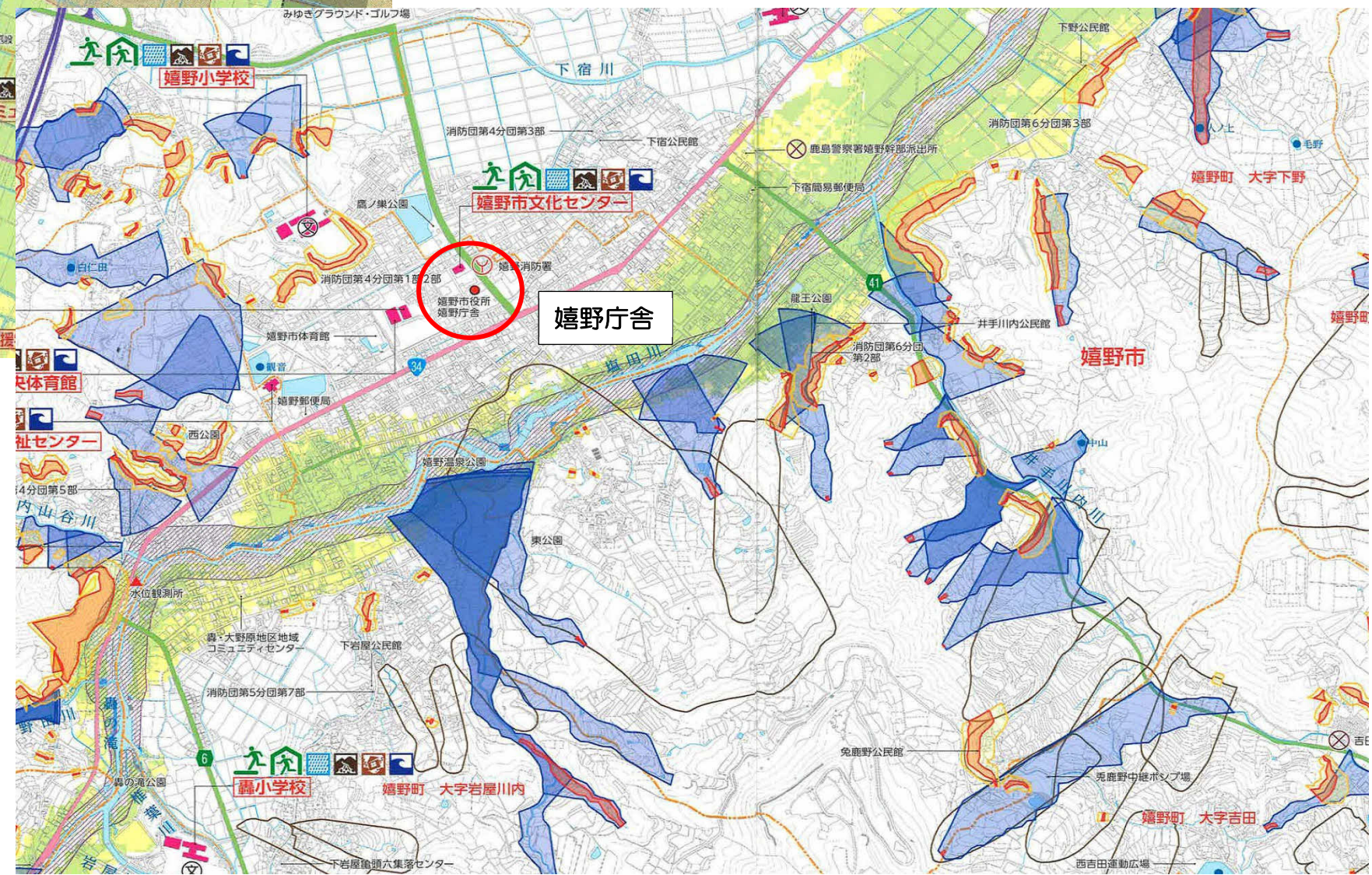


【項目 14：洪水ハザードマップ浸水深さ】



塩田庁舎周辺拡大

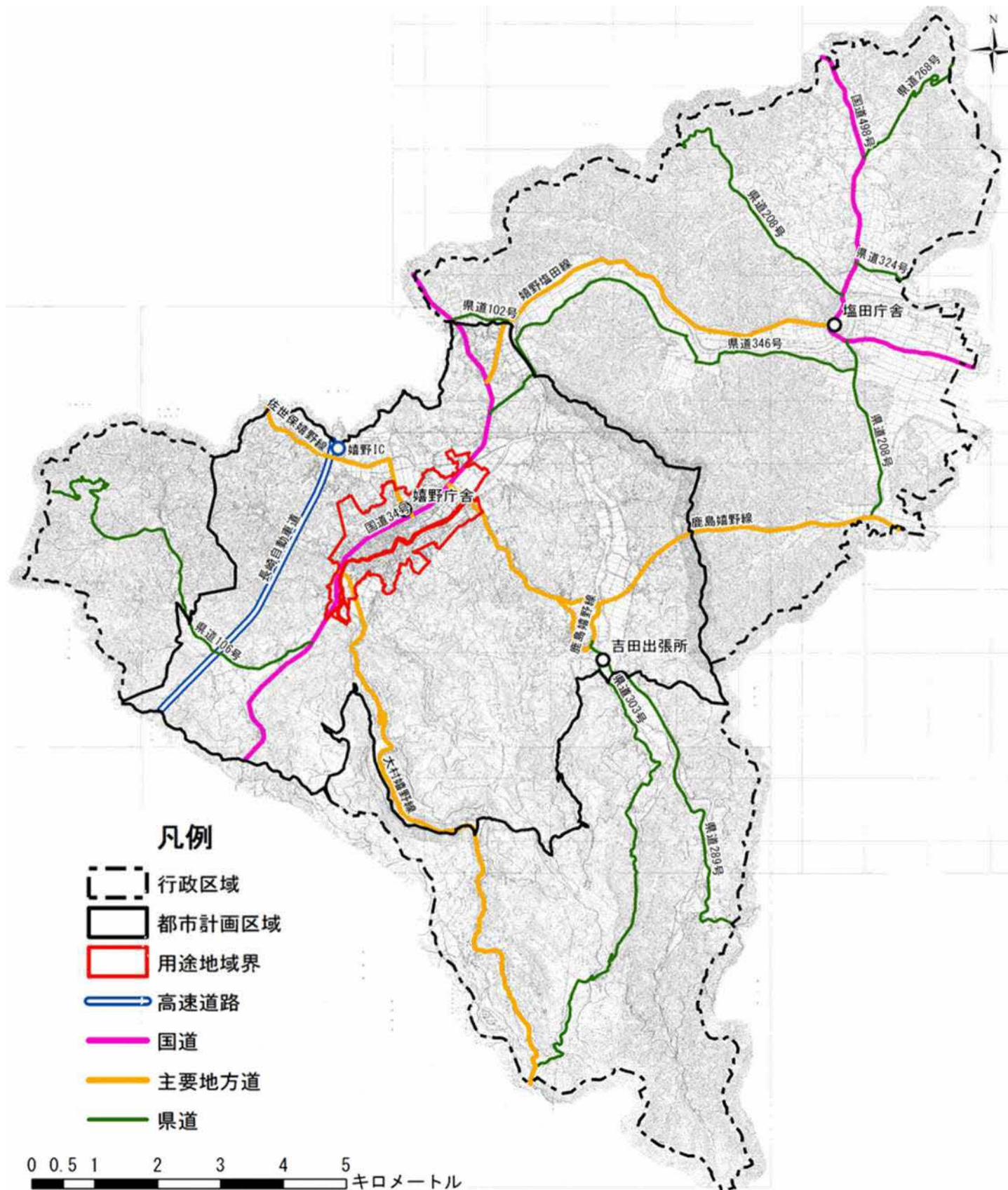
塩田川が氾濫決壊した場合の浸水想定区域図です。
塩田庁舎で **5m～10m** の浸水が想定されています。
嬉野庁舎は浸水想定区域内には入っていません。



塩田庁舎

【項目 15 沿線主要道路】

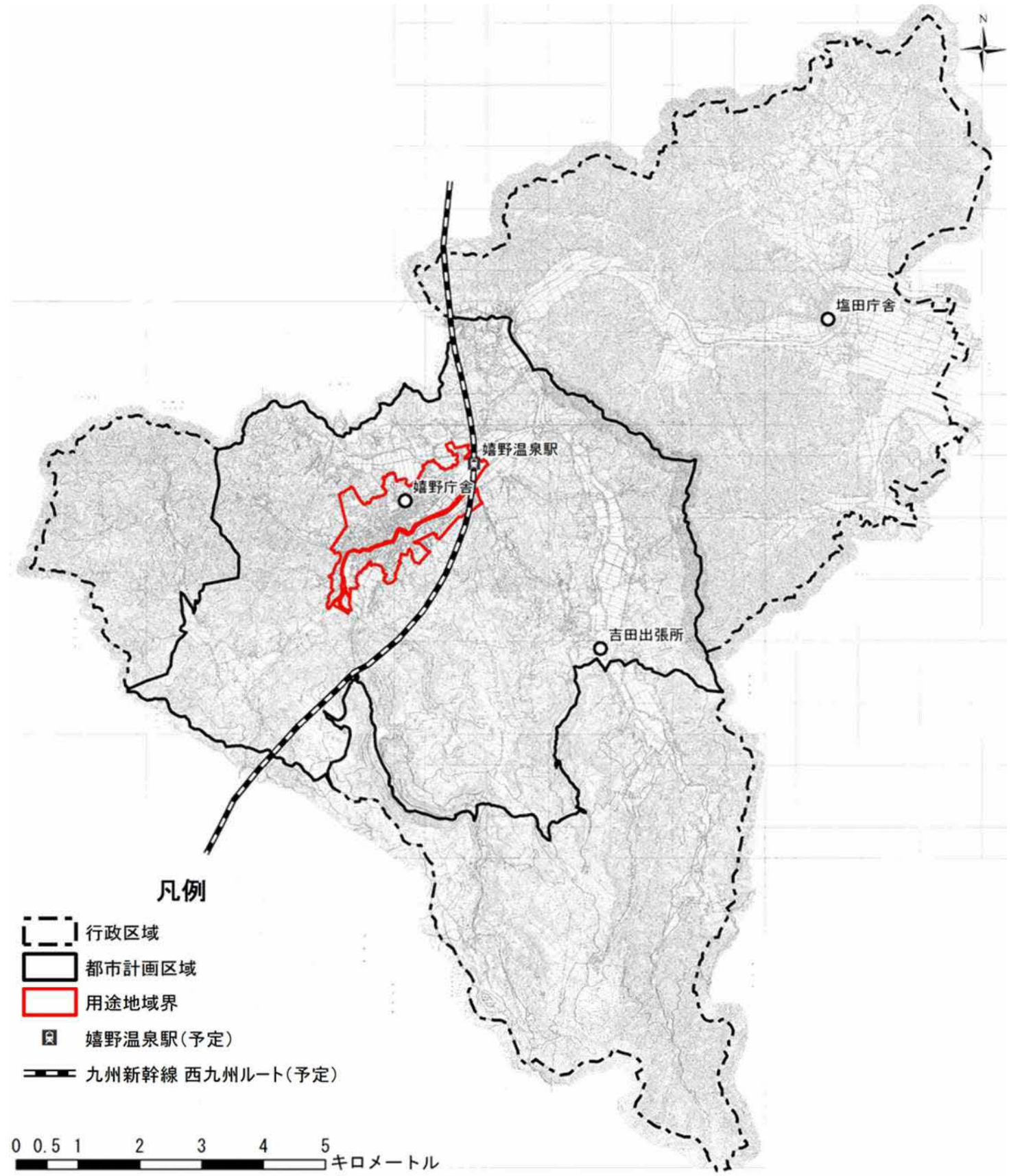
両庁舎の沿道には、それぞれ国道が整備されており、主要地方道と県道による道路網ネットワークが形成されています。



出展：嬉野市立地適正化計画

【項目 16 その他都市計画】

現在、九州新幹線 西九州ルートが整備中であり、嬉野高校近くに嬉野温泉駅の建設が進められています。



出展：嬉野市立地適正化計画

【17項 令和元年実施アンケート調査】

1. 調査の目的

来庁者の動向を把握し、今後の庁舎のあり方検討の基礎資料とするため

2. 調査方法

来庁された方への窓口調査並びにアンケート調査

3. 調査期間

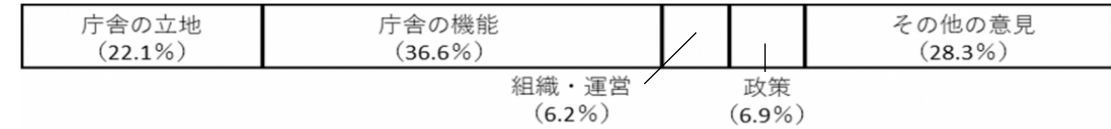
令和1年5月13日～9月30日

4. 調査内容

- ①来庁者状況調査（来庁者の種別（人）、内容（要件）、時間（滞在時間））
- ②来庁者アンケート（来庁者の在住地区、目的、来庁回数（年間）、手段（交通機関）、希望する庁舎機能）

自由意見

庁舎のあり方に関して、135名より145の自由意見の記載がありました。



1. 庁舎の立地について（32意見）

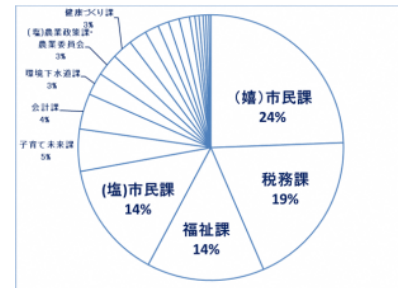
「庁舎を統合する」は9意見、「新たに設置」は5意見、「現状のままで良い」は9意見

項目	内訳	主な意見
庁舎統合（非特定）	塩田（1）	塩田しかない課、嬉野にしかない課があって不便
	嬉野（3）	両方の庁舎を行ったり来たりされる方もある。出来るだけ一つの場所で効率よい働き方ができたら良い
庁舎統合（集約）	塩田（1）	塩田へ統合（1）
	嬉野（4）	嬉野へ統合（4）
新たに設置	嬉野（5）	嬉野・塩田の中間に位置し、公共交通期間が便利なところ 駅と同居（駅が2階で庁舎が3・4・5階） 1ヶ所であれば大草野辺りが良い
現状のままで良い	塩田（2）	塩田庁舎の存続、合併要件 塩田庁舎だけになると不便を感じる 嬉野にも残して頂きたい
	嬉野（7）	塩田・嬉野のそれぞれの庁舎を有効利用して機能を維持して欲しい

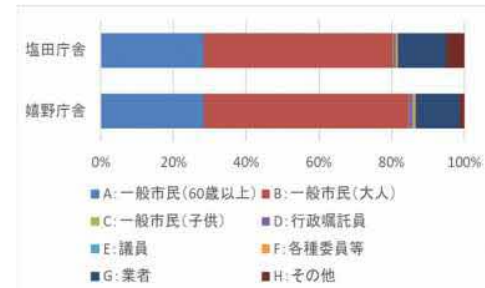
その他の意見として窓口、手続きの1本化や（庁舎に限らない）出先機能、防災に関する意見がありました。
 ・子育て支援など健康づくり課が塩田にあるため、嬉野にも子育て支援や、妊産婦さんの相談窓口のようなものが出来たらいい（塩田）
 ・出張相談が吉田支所があればいい（嬉野）
 ・申請の手続きが1庁舎で済むようにお願いしたい（塩田）
 ・雨のひどい時に浸水すると分かっている塩田が本庁舎っていうのも気になります（嬉野）

表内カッコ内の数字は同様の意見数を示す

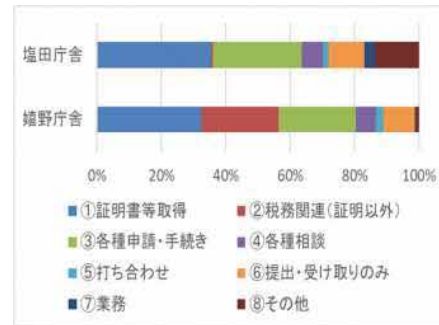
来庁者状況調査



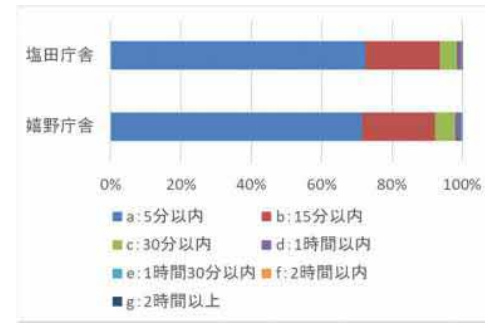
課別来庁者(両庁舎合計)
 (嬉)市民課、税務課、福祉課
 (塩)市民課への来庁者で全体の72.1%を占める。
 次いで子育て支援課、会計課、環境下水道課、(塩)農業政策課・農業委員会、健康づくり課の順。



種別来庁者
 両庁とも一般市民(60歳以上、大人)で80%以上を占める。
 次に多いのは業者。



内容別来庁者
 両庁とも証明書受け取り、申請・手続きが多い。
 嬉野庁舎の税務関係と塩田庁舎のその他以外は、概ね同じ傾向にある。



滞在時間
 両庁とも5分以内と15分以内で90%を超える。
 両庁舎とも同じ傾向にある。

2. 庁舎の機能について（53意見）

「窓口サービス」は、時間外の利用に関する要望が多くみられました。「市民利用機能」では、小さな子供が遊べるスペースや市民が集えるスペース、カフェなど。その他バリアフリー、駐車場の機能への要望が見られました。

表内カッコ内の数字は同様の意見数を示す

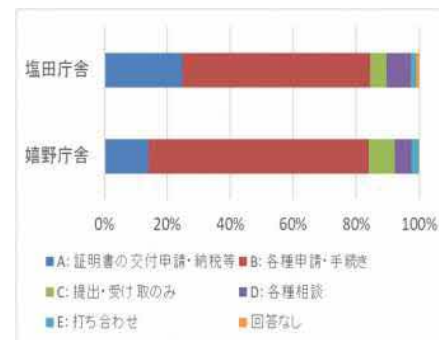
項目	内訳	主な意見
窓口サービス	塩田（7）	特別な時だけでなく、時間外や日曜日もあると助かる（8意見） 子育て支援センターが土・日も開いていたら嬉しい（4意見）
	嬉野（8）	駐車場に申請書類の投函ポストが欲しい
市民利用機能	塩田（6）	（小さい）子供が遊べるフリースペース（6意見） コンサートや上映会が出来るようなホール（フリースペース）（5意見）
	嬉野（9）	市民が集えるカフェ（3意見） その他、相談スペースの設置、ATMの設置
バリアフリー	塩田（2）	エレベーターが無いのはお年寄りには不便 バリアフリーにしてほしい（トイレも）通路がせまい
	嬉野（3）	駐車場から雨にぬれずに入れるようにしてほしい（足が悪い人たちは大変）
駐車場	塩田（3）	駐車場が空いていない、少ない（両庁とも）
	嬉野（5）	車の出入りもしにくい（塩田）

市民利用機能に関するイメージ
 ・気軽に来庁出来る。例えば武雄図書館のイメージで1階ホール
 ・鹿島市役所のように、コンサートや上映会が出来るようなホール（2意見）
 ・佐賀のどんどの森の図書館にあるようなカフェ（図書館や市役所に用事があって来た人の利便性）
 ・武雄市役所内のカフェパン屋さんで市役所のイメージがすごく変わった。電子マネーも使えて便利（2意見）

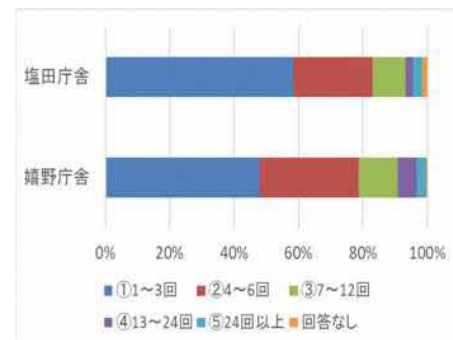
3. その他の意見

「組織・運営（6.2%）」は、総合窓口の設置や待ち時間解消など9意見。「政策（6.9%）」は、コミュニティバスの運行など10意見。「その他（28.3%）」は、来庁時の感想や意見など（41意見）がありました。

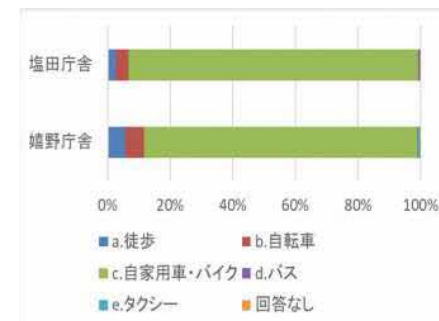
お客様アンケート



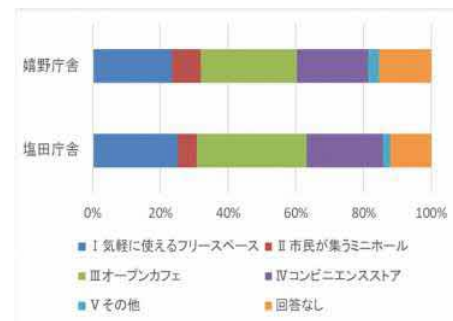
来庁の目的
 両庁とも証明書の交付申請・納税等、各種申請・手続きが大半。
 次いで多いのが、嬉野庁舎は提出受け取りのみ、塩田庁舎は各種相談となっている。



来庁頻度
 両庁とも①1回~③3回、②4回~⑥6回、③7回~⑫12回の順となっている
 ①と②で概ね80%



来庁の手段
 両庁ともほぼ自家用車・バイクで来庁している。



庁舎に求める機能
 ①オープンカフェ
 ②フリースペース
 ③コンビニの順。
 両庁とも同じような傾向となっている。

3 検討事項の取りまとめ

表 協議内容総括表(資料)

1	体制	①案：2庁舎体制維持（案）		②案：2庁舎体制維持（案）		③案：1庁舎体制移行（案）		④案：1庁舎体制移行（案）	
2	対象庁舎	塩田庁舎	嬉野庁舎	塩田庁舎	嬉野庁舎	塩田庁舎	嬉野庁舎	塩田庁舎	嬉野庁舎
3	建築物の方向性	現状維持	新築建替 (現況と概ね同規模)	現状維持 (使用範囲縮小)	新築建替 (規模拡大)	増改築 (規模拡大)	閉庁	閉庁	閉庁
4	対象庁舎機能	本庁的機能	支所的機能	支所的機能	本庁的機能	本庁的機能	無	無	無
5	職員数 (庁舎内勤務)	現行配置 134 名	現行配置 141 名	人員縮小 (窓口サービス中心)	人員拡大 (部署移行)	全職員 (全部署)	塩田庁舎に統合 無 (別途窓口検討)	新庁舎へ統合 無 (別途窓口検討)	新庁舎へ統合 無 (別途窓口検討)
案の概要		<現塩田庁舎継続活用(行政機能維持)> ・嬉野庁舎新築>		<嬉野庁舎新築(行政機能移行)> ・現塩田庁舎継続活用(機能縮小)>		<塩現塩田庁舎への統合(塩田庁舎増改築)> ・現嬉野庁舎閉庁>		<庁舎への統合(新庁舎新築)> ・現塩田庁舎及び現嬉野庁舎閉庁>	
案のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所で窓口サービスの提供ができる。 ・市民が利用することに慣れた場所でサービス提供ができる。 ・旧町ごとに庁舎があることが市民に安心感を与える。 ・建設コストを比較的抑えられる可能性がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所で窓口サービスの提供ができる。 ・市民が利用することに慣れた場所でサービス提供ができる。 ・旧町ごとに庁舎があることが市民に安心感を与える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・運営コストが節減できる ・必要な手続きが1か所で行える ・職員の移動コストがなくなり、移動時間を本来業務に充てることができる ・大規模災害時の本部一元化が可能となる。 ・建設コストを最も抑えられる可能性がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・運営コストが節減できる。 ・必要な手続きが1か所で行える。 ・職員の移動コストがなくなり、移動時間を本来業務に充てることができる。 ・大規模災害時の本部一元化が可能となる。 ・職員のガバナンス(統治統制)強化に繋がる。 	
検討課題		① 将来的に2庁舎維持が適当か(人口・市職員減少や財政・管理運営コスト面等) ② 現塩田庁舎が今後も防災拠点として妥当か		① 将来的に2庁舎維持が適当か(人口・市職員減少や財政・管理運営コスト面等) ② 新嬉野庁舎への行政機能移行は適当か(塩田庁舎⇒新嬉野庁舎：市長・市議会)		① 将来的に1庁舎統合が適当か(増改築コスト・行政運営・行政サービス面等) ② 現塩田庁舎が今後も防災拠点として妥当か ③ 庁舎が閉庁する嬉野地区への窓口機能を設置するか(出張所等) ④ 庁舎が閉庁する嬉野地区への影響はどうか		① 将来的に1庁舎統合が適当か(新築コスト・行政運営・行政サービス面等) ② どこに新庁舎を建築するか ③ 庁舎が閉庁する地区に窓口機能を設置するか(出張所等) ④ 庁舎が閉庁する地区への影響はどうか	
地理要因		① 新嬉野庁舎の位置現嬉野庁舎(建替)または、別の市有地等 ② 塩田庁舎は現在の位置		① 新嬉野庁舎の位置：現嬉野庁舎(建替)または、別の市有地等 ② 塩田庁舎は現在の位置		① 現塩田庁舎の位置：位置の変更なし ※嬉野庁舎閉庁		① 新築庁舎の位置：塩田地区 or 嬉野地区 ※具体的な候補地は選定が必要	

【配置イメージ】

